



モユク・カムイ 67

NO.

MAR 2004

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

あさひやまどうぶつニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ 「ぼくは動物大使」 その27 極寒に生きる④ トナカイ	2. 3
第9回 フォトコンテスト	4. 5
飼育研究レポート	6
こども牧場だより VETニュース	7
できごと 飼育動物数 編集後記	8



トナカイ
Rangifer tarandus

ほくは、
動物大使
その28 極寒に生きる④トナカイ

トナカイ

Rangifer tarandus

北アメリカ、ユーラシア両大陸とその周辺の島々のタイガ、ツンドラ地帯に分布。シカ科の中で、最も北に生息し、年間10ヶ月も地面が露出しない過酷な地域で生きる。餌の乏しい厳冬期には、ハナゴケ類などの地衣類を食べて生きのび、次の餌場を求めて移動する。その距離は1000kmにも及ぶ。

ラップランド、ノルウェーの一部、シベリアの一部では古くから家畜化され、極北の遊牧民にとってなくてはならない存在。ラクダが「砂漠の舟」なら、トナカイは「ツンドラの舟」なのだ。

毛

中空の毛。毛の1本1本に空気が入り、体温を逃しにくくする。

体

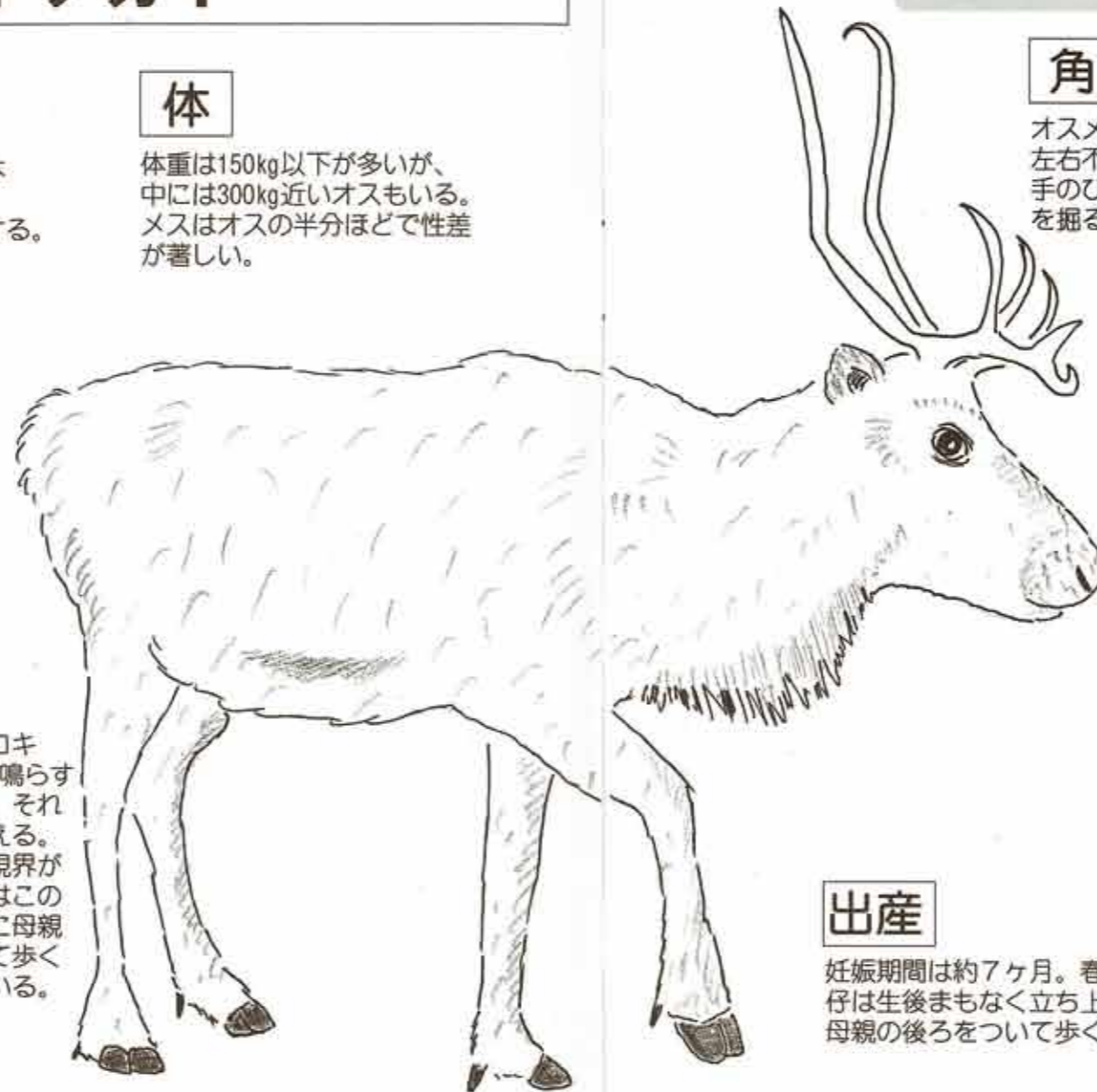
体重は150kg以下が多いが、中には300kg近いオスもいる。メスはオスの半分ほどで性差が著しい。

名

北アメリカでは「カリブー」と呼ぶ。日本名の「トナカイ」実はアイヌ語である。

足

幅広い蹄。歩くとコキコキ音が鳴る。指をポキポキ鳴らすくせがある人がいるが、それと同じ現象と当園は考える。白夜やプリサードなど視界が悪い時、仔はこの音をたよりに母親の後をついて歩くといわれている。



角

オスメスとも枝角をもつ。左右非対称。片側の角の前部は手のひらのように扁平で、地面を掘る時に使う。「雪枝」
せつし

顔

鼻づらは長く、鼻先まで毛で覆われている。

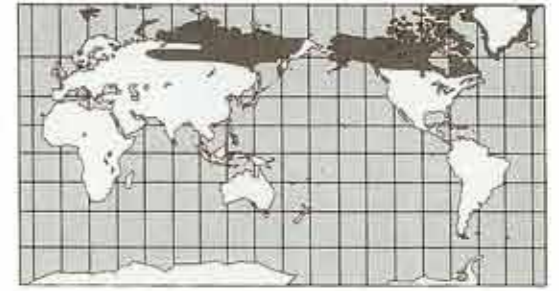
首

首から胸にかけて、長く白い毛が生える。

出産

妊娠期間は約7ヶ月。春に1頭の仔を産む。仔は生後まもなく立ち上がり、1時間ほどで母親の後ろをついて歩く。

トナカイの分布



旭山ZOOのシカの仲間



フビチ 北アメリカ、中国、モンゴルに生息し、ヘラジカの次に大きいシカ



エゾシカ 北海道の代表的な草食獣

旭山ZOOのトナカイ

01'12月よりオス3頭、メス5頭を飼育。病気や寄生虫症などで5頭が死亡。

02'6月、初繁殖するが残念ながら5ヶ月で死亡。翌年6月、2回目の繁殖。現在オス1頭、メス2頭、仔1頭。



天敵

草食獣の天敵といえば、肉食獣です。トナカイの場合はオオカミがそれにあたります。しかしトナカイにはもう一つ大きな、いや小さな敵がいます。それはアブやブヨ、カなどの吸血性昆虫や、鼻孔に幼虫を寄生させるウシバエなどの大発生です。これらはトナカイの体調を極度に悪化させます。

今から30年ほど前に、カラフトから野生のトナカイ10頭が来園しました。しかし旭川に着いて半年の間に6頭が、トナカイハナバエ、ヒフバエの寄生で死亡してしまいました。その後、根気強い消毒によって駆除し、被害はくい止められました。たかがハエとはいえ怖いものです。

角があるほうか？

トナカイはシカ科の中で唯一、メスにも角があります。角は1年で落ち、また新しい角に生え替わりますが、オスとメスでは落角の時期に違いがあります。オスたちは、秋の交尾期にメスをめぐり、角を武器に闘争します。メスは春に出産しますが、産後1週間は捕食者や他個体から仔を守るために角が使われ、その後角が落ちます。オスは秋の交尾期、メスは春の育児期、それぞれ一年で一番大事なことをやり終えてから、武装をはずしているのです。ということは、クリスマスにサンタさんを乗せてやってくるトナカイは、メスということになるのでしょうかねえ。



第9回 フォトコンテスト

最優秀賞 「ドーム」 今井 純一さん



今年も秀作・力作勢ぞろい！
では、カメラ子ゾウくんの
解説付でどうぞ！

ほっきよくくま館のカプセル型窓に前あしを乗せているソウ。旭山ならではの1枚です。足の裏にも毛が生えているのがよくわかるね。飼育係でもなかなか見られないお宝ショットです！！



優秀賞 「メエメエさんといっしょ！」 藤恵美子さん



お母さんのリアンと娘のモモのツーショット。モモは見るものすべてに興味津々みたい。かわいいソウ。



優秀賞 「これなーに」 北野道雄さん



優秀賞 「手のりソウさん」 中江弘幸さん



ホクが手のひらにのつちゃった！遠近法をうまく使ったナイスアイデアの一作です。



こども牧場でヤギとふれあう女の子。ちょっとおっかなびっくりかな？

金賞 「ねえねえ一緒に遊ぼうよ」 山下恭子さん



どっちが見られているの？意外と動物たちもみんなを見て楽しんでるんだよ！

金賞 「オレが悪かった。帰ってきてくれ！」 小川悟志さん



この表情にはこのタイトルしかないでしょう。ちなみに、この動物は夏毛のホッキョクギツネです。

金賞 「アタック」 友岡梨恵さん



イワンくんはボール遊びが大好き！強烈的なアタックを決めた瞬間だね



金賞 「私達が目になってあげるね」 浦 美香さん



これは園内にあるゴリラのオブジェ。目の所にちょうど顔がくるなんて、企画賞だね。



金賞 「大好き白クマさん」 土屋穂乃佳さん



ガラス越しに白クマさんと遊んでいます。いや、イワンくんが遊んでもらってるのかなあ？

金賞 「雪とたわむれる」 佐藤和子さん



雪のかたまりで遊ぶコキちゃん。雪のじゅうたんがよくお似合いです。

金賞 「ウツトリ」 脇坂幸子さん



水面にうつる自分の美しさに思わずウツトリ…。絵になる一枚です。



金賞 「ベロリ」 田嶋昭次さん

あたたかい日差しの中で休むトラのいっちゃん。舌をベロツとしたほんの瞬間をとらえた力作。ねばり勝ちですなあ～。



今度はいっちゃんの大接近に思わず泣いちゃいました。ガラスがあるから大丈夫だよ！泣く子も叫ぶ迫力の一枚でした。

金賞 「一本足の衆山子」 渡部晃子さん



このスタイルが一番素なんだって！ホクにはできないなあ～。



金賞 「おっがいおっがい」 田中一彦さん





ジャックとリアンの物語-第2章-

いよいよモモちゃん誕生秘話...とその前に、当園のオランウータンと言えば、なんといっても「空中散歩」でしょう。今回はその画期的な放飼場のお話です。

そもそも、何故このような放飼場を作ったか？それはオランウータンの野生での生活の仕方にあります。当園のオランウータンは、ボルネオオランウータンといい、野生での生息地は、インドネシアにあるカリマンタン島（旧名ボルネオ島）の森の中で暮らし、1日のほとんどを木の上で生活しているのです。そう、移動する時も、食べる時も、寝る時も木の上なのです。地上に降りる事はめったにありません。オランウータンという名の語源も、マレー語で「森の人」という意味から来ています。その彼らの移動手段というのは、足で歩くのではなく、腕を使って木から木へ腕渡りをしていく移動法なのです。ちょうど人が「うんてい」で遊ぶような動きをするワケです。当園の飼育場は、彼らの本来の姿である「木の上」で生活しているオランウータンを見てもらいたい、優雅に渡る姿を見て欲しい、そんな思いから空中放飼場という高さのある展示施設になったのです。今では、もぐもぐタイムなどで「オランウータンの空中散歩」として知られています。もぐもぐタイムとは、1日数回時間を決めて、反対側の空中放飼場に餌をおき、それを取りに渡っていく、つまりその時間に見に行けば、必ず空中散歩が見られるのです。「なんだ、餌でつっているのか！」と言う人もいますが、決して芸やショーなどではなく、「餌を求めて移動していく」それが彼らの生活スタイルなのです。

さて、この放飼場が完成した頃、色々といピソードがありました。工事中はオランウータンを外に出せず、ずっと寝室にいたために、初めて空中放飼場に出た時には興味深々の様子でした。ところが空中散歩どころか、高い木の上に登ることすらしません。たぶん、生まれも育ちも動物園なので、登ることに対して慎重だったのでしょうか。そこで、人がまず登ってみせて安全である事を教えることにしました。とはいっても担当の僕は高いところが苦手なので他の人をお願いしてしまったのですが...。リアンは無事に登ることができて、空中散歩するオランウータンが見られる様になったのです。その後は、ジャックが来園してきましたが、リアンの行動を見てジャックは学んだようで、早いうちに空中散歩を覚えました。ジャックの渡り方は、その体格と年齢のせいか、あまり優雅とは言えず、とても慎重な渡り方をします。冬期間はお見せすることができませんでしたが、夏季開園時には空中散歩をお見せできます。楽しみに待っていてください。



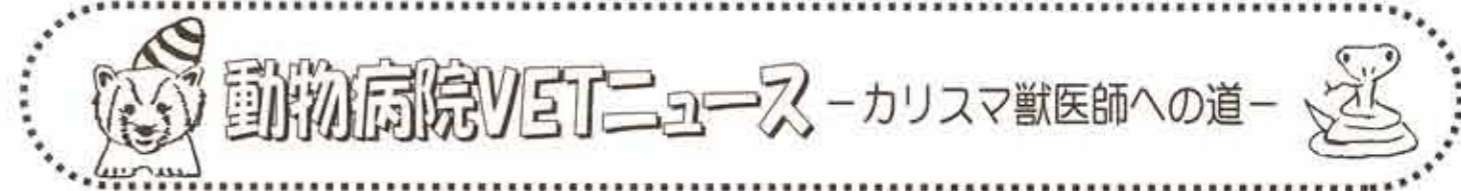
早いものでこども牧場のヒツジが主役だった2003年があったというまに終わり、サルが主役の2004年になりました。でもよく考えてみると、十二支のうち8種類の動物がこども牧場にいるんです（フタを多とすると）。12年のうち8年はこども牧場の動物が主役...なんだかすこいですね。

さて、今回はこども牧場に入ると一番最初に会おうヤギたちを紹介します。現在、こども牧場で飼育しているヤギは7頭。でもこども牧場の広場にいるヤギは6頭。さて、もう1頭はどこにいるでしょう？すぐにわかった人はすこい！その1頭はポニーの隣で暮らしています。なんで1頭だけ？と思う方もいるかもしれませんが、実はその1頭は唯一のオスなんです。オスのヤギはメスに比べると性格がキカナイので、広場に出しておくとおちよびり危険です。なのでかわいそうですが、ふだんはひとり(1頭?)暮らしをしております。

ほかの6頭のメスですが、1頭だけ顔や体にもよう(柄)があるヤギがいます。そのヤギだけ「トカラヤギ」という種類で、ほかの白いヤギたちは「シバヤギ」という種類です。それぞれのヤギの名前や見分け方を書いた看板がこども牧場にあるので、さがして見てみてくださいね。こども牧場にきたら、ヤギの種(黒)の形とツメ(蹄)に注目してみてください。どんな形をしているでしょう？

ところで、広場にいるヤギたちのおなかを見て「大きいおなかねえ。きつともうすぐ赤ちゃんが生まれるんだね！」という声をよく聞きます。残念ながら、そうではないんです。ヤギは胃が4つもあり、「はんすう」というちよつと変わった消化の仕方をする。「はんすう」とは一度飲み込んだ食べ物を口の中に戻して、もう一度よく噛んでから消化するというものです。胃の中には食べものがたっぷり入っているからおなかが大きくなってしまったのです。さらに、こども牧場のヤギたちは時間が来ればエサがもらえることを知っています。なのでエサを探して歩き回ることがないので、運動不足でちよつと太り気味なのです。現在ダイエット中なので、ご協力お願いします！

最後に、昨年生まれの「くらら」を紹介します。「くらら」の特徴は、一番体が小さいということと伸びかけのツノです。昨年5月25日生まれのメスで、赤いチェックの首輪をしています。小さいときは飼育係にさわられるのをいやがっていましたが、最近はなでられてうっとりしています。生まれたばかりの時の体重は約2kg。生後2週間で体重は2倍になり、生後1ヶ月半ころには4倍の約8kgにまで増えました。現在は約20kg。だっこのして体重をはかるのが大変になってきました。まだまだこどものかわいい「くらら」に会いにきてください。『んめえ〜(わたしにあいにきてめえ〜)』



傷ついて動物園に運ばれてきた野生動物-その1: 実態は...

野生動物のことをどれだけ知っているでしょうか？また、見たことがあるでしょうか？皆さんの周りでも、スズメ、カラスやトビなどが普通に見られますね。他にも、ごく身近にヘビ、カモ、サギ、タカ、キツネやタヌキなどさまざまな野生動物がすんでいると思います。

しかし、地球は彼らにとってどんどんすみにくい環境になってきています。自然界でたくましく生きている彼らが、私たち人間が原因で傷ついたり病気になって数を減らしているのです。森の木を切り倒してダムや道路を作ったり、タンカー一船の事故で海を油まみれにしたり、車で動物をひいたり、...。今回は、人間に傷つけられた後、人間に保護されて動物園に運ばれてきた野生動物たちについてお話します。

旭川市旭山動物園では、野生動物の保護が一年間におよそ150件あります。つまり、2、3日に1回は野生動物が運ばれてくるということになります。平成10-14年の5年間で、758件の保護があり、その9割は鳥類でした。動物の種類と原因はさまざまですが、よく調べてみると大体の傾向がわかります。

種類は、多い順にトビ、スズメ、マガモ、ムクドリ、キンバト、と続き、人間が住む場所の近くで暮らしている種類が多いです。哺乳類で多いのは、エゾタヌキとエゾキウサギです。

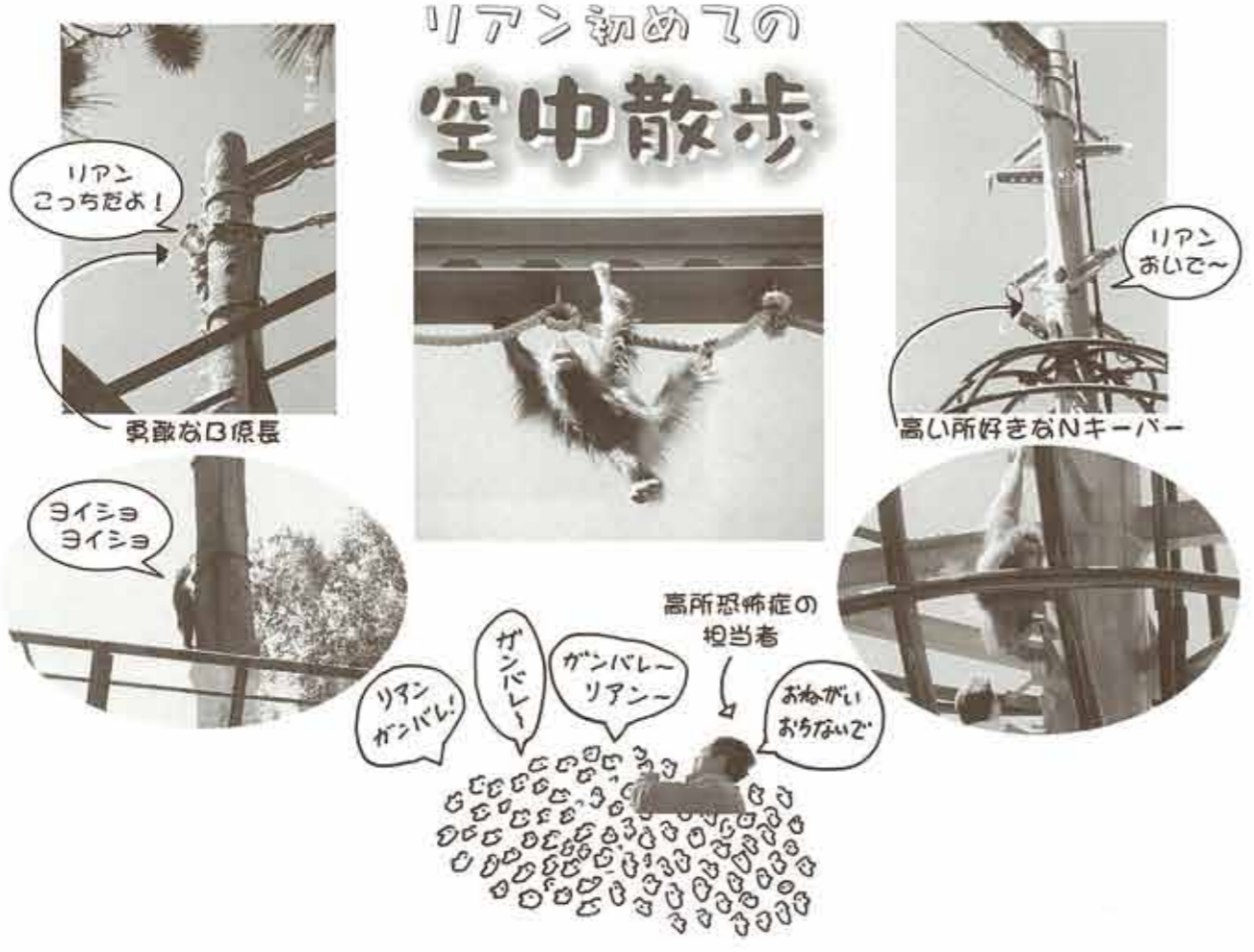
原因は、鳥では、ヒナが巣から落ちる、巣立ちの訓練中に人間や犬猫に捕まる、交通事故にあう、景色が映った窓ガラスに向かって飛んでぶつかる、などが多いです。哺乳類では、こどもが親を失う+誘拐される、病気で弱る、建物に迷い込む(コウモリ)の順です。親を失うとは、例えば、牧草地に巣を作ったエゾキウサギが牧草刈りで機械に巻き込まれて親が死んだり逃げたりして、こどもだけ取り残されてしまうことです。誘拐とは、例えば、まだうまく歩けないエゾシカのこどもが草むらでじっとお母さんが授乳をやっているのを待っている所を、「弱って動けなくなっていた」と誤って連れてこられることです。他には、カイセンという寄生虫に感染し、皮膚がボロボロに傷ついて弱るエゾタヌキもいます。すんでいる森が失われたり、餌付けのため人里におりてきたタヌキが犬猫と接触して感染が広がったと言われています。また、放し飼いや捨てられた犬猫が森に侵入して行って、感染を広げています。人間が直接ではないけれど自分たちのペットを通じて、間接的にも野生動物を傷つけているのです。さらに、鉛弾で撃たれたエゾシカの肉を食べて鉛中毒になるフシタカ類、タンカー事故による油汚染の海鳥、農薬中毒のアオサギなどもさまざまです。

農薬散布で中毒死する動物は、アオサギ以外にも、小さくて目立たない昆虫や小鳥などたくさんいるにちがひありません。人間に見られて保護されるのは、ほんのごく一部でしょう。皆さんの近くでも、その何十、何百倍以上の野生動物が気づかれないで...

第二、第三のエゾオオカミ、ニホンオオカミ、トキをこれ以上出さないようにしたいものです。そのためにどうすれば良いか？問題は地球規模で大きいですが、私たちが簡単に出来ることでは、まずは野生動物のことをよく知ることだと思えます。そして、彼らとの距離を保った生活をし、絶滅の原因を作らないように心がけて行くことでしょう。

今回は、保護されて動物園に運び込まれた野生動物たちの運命についてお話します。

※当園は、野生動物の保護に貢献を行い、さらに野生動物でできなかった動物をどう有効活用するかを分析して、結果を学会(平成15年日本獣医三学会北海道地区)で発表しました。その内容は高く評価され、北海道獣医会会長賞を受賞しました。このように、動物園は、野生動物保護、疾病研究と博識教育にも役立っています。(獣医師 榎井)



リアン初めての空中散歩

主なできごと

- | | | | |
|-----------|---|-------|--|
| 10月15～16日 | 平成15年度日本動物園水族館協会
北海道ブロック秋季飼育技術者研究会
「チンパンジーを担当して」 畠山 淳 | 1月13日 | キング・ジェンツーペンギン各1羽出園
(八景島シーパラダイス) |
| 10月19日 | 夏期開園終了
入園者数735,214人新記録！
さよならクイズ大会 | 1月20日 | 飼育勉強会 |
| 11月1日 | 冬期開園開始 | 2月13日 | レッサーパンダ来園
(東京都多摩動物公園) |
| 12月1～3日 | 第51回全国動物園技術者研究会
「ホームページの
ライブ映像配信について」
「ペンギン類の
低ナトリウム血漿について」坂東 元
「ボルネオオランウータンの出産時に
おける介添保育について」 高橋伸広 | 2月20日 | 高病原性鳥インフルエンザ対策
ニワトリ、アヒルのふれあい中止
保護鳥類の受け入れ中止
飼育勉強会
「エゾヒグマの飼育状況変化」 (辻栄) |
| 12月6日 | キングペンギンの散歩始める | 2月27日 | エゾリス3頭出園 (神戸市王子動物園) |
| 12月12日 | アオバスク2羽来園 (福井県) | 2月29日 | 平成15年度の入園者80万人達成！ |
| 12月19日 | カルガモ6羽来園 (埼玉こども動物園) | 3月3日 | レッサーパンダ出園 (羽村市動物園) |
| | | 3月16日 | ウンビョウ来園
(よこはま動物園ズーラシア) |
| | | 3月18日 | ゴマフアザラシ出産 |
| | | 3月20日 | 飼育勉強会
「ロープの結び方 PART3」 (牧田) |
| | | 3月22日 | アムールトラ人工授精 |

飼育動物数

(平成16年2月末現在)

ほ乳類	49種	222点
鳥類	90種	527点
爬虫類	11種	38点
合計	150種	787点

編集後記

平成15年度は新しい獣舎も建たなかったのに来園者が80万人を超えました。今年はおざらし館がオープンします。建築も最後の大詰めで僕も大忙しです。北海道の地元の動物の展示が皆さんにどのように評価されるか、旭山の真価が問われそうです。数字は怖いです。仮に来年度の入園

者が90万人を超えても、前年度は何も建てなくても15万人近くも伸びたのに！と言われそうです。入園者数を追うのは遊園地やテーマパークです。僕は10年後も愛されている動物園にしたいだけなのです。それが動物を飼育するものの責任のような気がします。

春は
もうすぐ！



モユク・カムイ No.67 平成16年3月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
 発行 小宮正夫 <http://www.city.asahikawa.npkkaido.jp/files/asahiyamazoo/index.html>
 編集委員 中田真一・坂東 元
 印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653